愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	未来社会論		
担当者(Instructors)	海邉 健二	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本講義では、「未来の望ましい社会」のあり方を技術革新の観点から考えます。第一に過去の技術革新が社会や人々に及ぼした影響を先行研究や事例で学びます。第二に現在の社会が抱える様々な課題を知り、それらの解決に向けて求められる技術革新について科学技術政策等を通じて学びます。第三により良い社会を創るために技術革新が社会に貢献できることや、皆さんが将来に向けて何ができるか/すべきかを考えます。　本講義では技術革新に対する理解を通じて、社会正義の視点や将来を見通す力を身につけ、より良い未来社会の創造に向けて自分自身の考えを他者に伝えることができるようになることを目指します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	基本的にオンラインによる講義とします。参考図書などによる予習を前提に資料を用いて解説を行いながら、未来の望ましい社会と技術革新について受講生が考えを示す機会を設けます。理解の定着を図るためにオンラインの各種機能を用いて、できる限り双方向でのコミュニケーションを図りながら講義を行います。小レポートの提出を求める場合があります。また第10回以降に皆さんが考える未来社会について考えを纏め、発表する機会を設定します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	イントロダクション	授業計画や成績評価の方法、授業の目的、習得すべき目標などについて説明します。	□
第2回	これまでの技術革新と未来社会	過去の技術革新と社会変化の事例紹介や、未来社会を考えていくための基本的な考え方などについて説明します。	□
第3回	技術革新と社会浸透	技術革新が既存の常識を置き換え、社会に浸透していくために必要となる社会の合意形成プロセスについて説明します。	□
第4回	技術革新と社会の変化①～農業分野～	農業分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本の農業分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□
第5回	技術革新と社会の変化②～医療分野～	医療分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本の医療分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□
第6回	技術革新と社会の変化③～エネルギー分野～	エネルギー分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本のエネルギー分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□
第7回	技術革新と社会の変化④～環境分野～	環境分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本の環境分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□
第8回	技術革新と社会の変化⑤～情報通信分野～	情報通信分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本の情報通信分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□

第9回	技術革新と社会の変化⑥～宇宙工学分野～	宇宙工学分野におけるこれまでの技術革新が社会や人々に及ぼした影響について、当時の社会的背景・課題とともに説明します。また併せて現在の日本の宇宙工学分野における様々な社会的課題とそれらを解決するために求められている技術革新、それを実現するための科学技術政策や研究開発の動向などについて説明します。	□
第10回	より良い未来社会の創造に向けて①～10年後を考える～	10年後の社会像について考えます。受講生が興味・関心を持つ技術革新について、それらが社会に与える影響や、受講生が10年後に向けてできること/すべきことについて考えをまとめ、発表し、より良い未来社会のあり方について議論を行います。	□
第11回	より良い未来社会の創造に向けて②～20年後を考える～	20年後の社会像について考えます。受講生が興味・関心を持つ技術革新について、それらが社会に与える影響や、受講生が20年後に向けてできること/すべきことについて考えをまとめ、発表し、より良い未来社会のあり方について議論を行います。	□
第12回	より良い未来社会の創造に向けて③～30年後を考える～	30年後の社会像について考えます。受講生が興味・関心を持つ技術革新について、それらが社会に与える影響や、受講生が30年後に向けてできること/すべきことについて考えをまとめ、発表し、より良い未来社会のあり方について議論を行います。	□
第13回	より良い未来社会の創造に向けて④～50年後を考える～	50年後の社会像について考えます。受講生が興味・関心を持つ技術革新について、それらが社会に与える影響や、受講生が50年後に向けてできること/すべきことについて考えをまとめ、発表し、より良い未来社会のあり方について議論を行います。	□
第14回	目指すべき未来社会とは	受講生が興味・関心を持つ技術分野について、複数の時間軸を設定した上で、目指すべき未来社会について考えをまとめ、発表し、未来社会のあり方について議論を行います。	□
第15回	振り返りとまとめ	受講生が考える「目指すべき未来社会」に向けて、責任ある大人の立場として取り組むべき内容について考えをまとめ、発表します。またこれまでの講義で取り上げた様々な技術分野や時間軸とともに、目指すべき未来社会の実現に向けて解決すべき課題や取り組むべき行動などについて、振返り総括を行います。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・事前学習として、次回のテーマに関する参考図書などの該当部分に事前に目を通し、関連する情報を収集すること。（2時間程度）　・授業終了時に提示する課題について小レポートにまとめ提出すること。また課題解答に関連した事後学習を行うこと。（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

・小レポートについては原則として、次回の講義にて解説を行います。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◆ 2019全学共通DP1**	技術革新の変遷やそれらが社会や人々に及ぼす影響について理解をしている。 より良い未来社会の創造に向けて技術革新が社会や人々に及ぼす影響について、自分自身の考えを他者に表現することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	50%	0%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・レポート試験：50%
・平常評価：授業参加・講義時の問いかけに対する意見表明・小レポート・発表(原則として必須)：50%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義資料を配布	
2		

3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ビジネスを変える100のブルーオーシャン，日経BP総研，日経BP，2019	429610392X
2	2040年の未来予測，成毛眞，日経BP，2021	4822288900
3	未来探求2050　東大30人の知性が読み解く世界，東京大学未来ビジョン研究センター，日本経済新聞出版，2021	9784532358785
4	2060未来創造の白地図，川口伸明，技術評論社，2020	4297111594
5	トランジション 社会の「あたりまえ」を変える方法，松浦正浩，集英社インターナショナル，2023	4797674334